

アウトコースガイド

アウトコース全ての戦略法を簡単にご紹介いたします。

Yardage

OUT COURSE

A GREEN				
HOLE	B・T YARD	R・T YARD	HD	PAR
1	536	517	13	5
2	396	381	3	4
3	510	489	15	5
4	340	335	7	4
5	430	421	1	4
6	210	177	9	3
7	389	342	11	4
8	144	125	17	3
9	469	444	5	4
TOTAL	3424	3231		36

B GREEN				
HOLE	B・T YARD	R・T YARD	HD	PAR
1	530	510	13	5
2	395	377	3	4
3	498	476	15	5
4	339	334	7	4
5	429	420	1	4
6	209	175	9	3
7	385	337	11	4
8	129	108	17	3
9	462	440	5	4
TOTAL	3376	3177		36

01 hole

スタートはロング・ホールなので、一般プレーヤーも堅実にバーでおさめておかないと、あとのプレーに影響をおよぼすおそれがあります。このホールは順調にプレーして第2打が低地帯に止まり、第3打のアプローチをアップスロープ上のグリーンへ打ち上げるようになりますので、ポイントはそのアプローチの決め方にあると言えるでしょう。広々としたフェアウェーに誘われて長打を曲げるよりは、手堅くストレート・コースをとる方が、むしろパーディーの幸運にも恵まれ易いと言えます。第2打の方向はいくらか左寄りの方が無難で、アプローチのグリーン・オーバーは避けた方がよいでしょう。

02 hole

やや左ヘドッグレッグして、ホール後半がグリーンに向かってゆるいダウンヒルとなります。低地越しに打ちおろしとなるティ・ショットは、右側が土手、左側が一段低い隣接3番ホールへ転落する斜面になっているので、いくぶん右寄りにドライブするのが安全と言えるでしょう。またグリーンに対してもオープンとなります。第2打で警戒しなければならないのは、グリーン地帯の奥がOBになっていることです。

03 hole

大蛇のように右へ首を振っているロング・ホールで、右側にはOBラインをはらんでいる崖が続いており、左側は一段高い2番ホール境界の土手が続きます。したがってホールの形なりにやや左路線をとって進むのが安全でしょう。これまでの2ホールに比べると幅がいくぶん狭い点からも、距離よりは方向に重点をおくべきホールです。また、アプローチ地帯に入ると前後にうねりが出来ているので、それがアプローチの狂いを招かないように慎重になるべきでしょう。それにはまず第2打の落とし場所を決める必要があります。

04 hole

距離の短いパー4ホールなのでティ・ショットを無難に打てればサービス・ホールとなるでしょう。ティ前方の谷に注意を奪われずに、正確なドライブを決めることに全力を注いで下さい。それには、ドライバーを他のクラブに代えることも考えられます。アプローチ地帯が低くなっている点から、最もよい落下地点をキャディから確認するのもいいでしょう。グリーン奥はかなり広いので、アプローチは大胆に狙って下さい。

05 hole

逆「く」の字型のドッグレッグ・ホールで、フェアウェーはグリーンまでゆるやかなアップヒルが続きます。ティ・ショットは右への傾斜越しに大きく打ちおろしますが、右側に沿って土手があり、左側はバンカーや1ペナゾーンがあるため、右へ打ち出しておくのがいいでしょう。両グリーン接点にはバンカーもなく、多少の曲がりは許容できますので、第2打はいくぶん大きめに打つ方が効果的です。ただし、グリーン地帯を左へ大きくはずれると窪地に落ちてリカバリーが大変難しくなります。

06 hole

距離のかなり長いショート・ホールですが、ゆるやかな打ちおろしとなっており、グリーン周辺もさしたるトラブルが予想されないで、初心者でも大きくスコアを崩す材料はほとんどないでしょう。ただし、グリーンオーバーは、トラブルのもとです。飛距離の出ない人は、無理なねらいを避け、両グリーン接点方面にボールをプレスして、寄せてワン・パットの作戦が最も賢明といえるでしょう。左側バンカーの土手は高くないので特に高く打つ必要はありませんがA GREENグリーン右側のバンカーは、アリソンバンカーで深く、脱出がむづかしいので気をつけましょう。グリーンへの進入路は強いと言えば、左からがいいでしょう。

07 hole

深い谷底に水をたたえた池越しにドライブしなければなりません、アイアンでも飛び越えられる距離ですので、メンタルサイドを乱されないよう気をつけて下さい。フェアウェーはグリーンに向かって軽いアップヒルとなっており、それだけヤーデージを大きめに見積もったプレーをするべきでしょう。両グリーン接点にはバンカーがないだけに、第2打の目標は大きくとって下さい。したがって、第2打では左右のバンカーに食われないよう注意し、むしろティ・ショットをセーブして第2打に全力を集中するほうが効果的であると言えるでしょう。

08 hole

こぢんまりとして、トラブルもほとんど見当たらないショート・ホールです。まさにアウト・コースのスコア調整のためのサービス・ホールと心得て、是非ともパーだけは確保するべく臨むべきでしょう。ティ前方にGまで距離のあるバンカーがあり、これに入れるとパーセーブが難しくなるので気をつけましょう。見た感じよりもいくぶん強目に攻める方が効果的でしょう。両グリーン接点にはバンカーがなく、グリーンは大きく感じられます。

09 hole

距離的に長いパー4のホールですが、ティ・ショットを大きく打ちおろせるので、その分だけヤーデージを稼ぐことが可能でしょう。左に沿う土手の前方は左へ傾斜しているラフで右は平坦ラフになっています。ティ・ショットがフェア・ウェーを横断するハローを越せば、第2打でグリーンを狙えるでしょう。アップヒルでブラインド気味ですので、右から左へ回りこむ感じのショットが効果的です。グリーン・オーバーはバンカーで固めてありますので、大きすぎるアプローチは要注意です。



ncc-i@nipponcc.co.jp

〒350-0403 埼玉県入間郡越生町大谷138

Tel.049(292)3331 Fax.049(292)5354